

令和元年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況・活動状況報告書

事業名：新たな林業展開のための人材育成事業(H27)

団体名： 秩父樹液生産協同組合



事業の目的・内容

山林の荒廃、過疎化が進む大滝地域において、林業に従事する新たな雇用を生むために事業を実施した。雇用した職員は樹液採取作業や、組合商品の販売、組合運営に関わる事務に従事している。



今までの活動状況

1～3 月には主に樹液採取作業を行う。市内や両神、横瀬の山林においてカエデの樹液を採取し、主に秩父観光土産協同組合へ販売している。

12～1 月には主に木材販売事業を行う。市内の山林で間伐した材に QR コードを貼付しトレーサビリティを確保。県内や都内の住宅メーカーへ直接販売している。

10 月下旬にはカエデの植樹を行っている。スギなどの針葉樹を間伐した山にカエデ等の広葉樹を植えることで、より豊かな山林を形成する。

また、通年を通して、秩父の山で伐採したキハダを活用したオリジナル商品の開発、販売を行っている。これらの活動を通して山の循環を生み、荒廃した山林と過疎化した地域の再生を行う。



これからの活動・行事

今後も樹液事業、木材事業、キハダ事業を拡大して行き、山の循環が生まれる仕組みを構築していく。